

## 県指定文化財

### 重要文化財【工芸品】 せい青 じ磁 さら皿



壺（青磁花盆）



青磁皿



皿

口径22.9cm、底径12.12cm、高さ4.5cm（写真中央）

大正6年霊山二つ岩付近から地域住民が発見したという。形、焼締り、色合いがよく、我が国における磁製皿としては最も古期に属するものであろう。他に破損してはいるが皿1枚、壺1口がある。

指定日 昭和28年10月1日 所在地 霊山町大字大石字古屋館1番地 所有者 霊山神社

## 町指定文化財

### 【建造物】 さん三 じょう乗 いん院 さん山 もん門



万延元年（1860年）宇都宮の彫師後藤源治の手により建立されたとあり、緻密で豪壮な建築物である。

掛田字川尻内佐藤繪家の初祖、越中守信種開基といわれる。山門は本格的な切妻式瓦葺六脚門である。

主柱の根巻金具は銅鑄品で雌雄の唐獅子がある。「山形住御用鑄物師莊司清吉作」の銘がある。

指定日 昭和57年7月15日

所在地 霊山町大字掛田字西裏6番地

所有者 三乗院（曹洞宗）



（左側）



（右側）

山門主柱の根巻金具（雌雄唐獅子）